

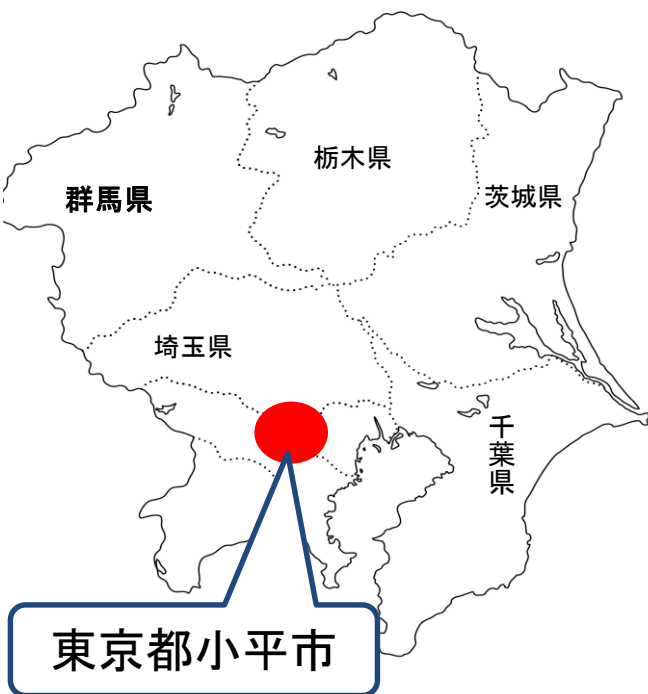
# 東京都の試験研究機関で豚熱を確認！ (国内85例目)

11月19日、東京都小平市の試験研究施設において豚熱の患畜が確認されました。東京都での発生は初めてです。

東京都では豚熱ワクチン接種を実施していますが、ワクチンで豚熱を完全に防げるわけではありません。

飼育施設への部外者の立入制限と車両・靴等の消毒、施設周辺の消毒やネズミ駆除、野生動物の侵入防止などの衛生対策をしっかりと実施してください。

豚やいのししに異状がみられた場合は速やかに通報してください。



## 【85例目の概要】

発生場所 東京都小平市 5頭飼養  
(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門小平海外病研究拠点)

## 【経過】

- ・11月17日(木)、外部から試験用イノシシを導入
- ・11月18日(金)、イノシシが死亡したので病性鑑定を実施したところ豚熱の疑い
- ・同施設で精密検査を実施し、11月19日、豚熱の患畜であると判明。

※ 同施設は国の検査機関であることから、病性鑑定、精密検査も同施設で実施されています。

管内の飼育豚、いのししにはワクチン接種をしていますが、油断をせず、衛生対策をしっかりと行い、感染のリスクを下げましょう！

以下について、いまいちど点検をお願いします！

- ☑ 毎日、豚やいのししの健康観察をしてください。異常があればすぐ通報！
- ☑ 出入りする車両や飼育施設周辺の消毒を徹底してください。
- ☑ 飼養衛生管理区域専用の衣服・長靴を着用してください。
- ☑ ネットや柵、コンパネなどを活用し、いのしし、ねずみなどの野生動物の侵入や接触の防止対策をしてください。
- ☑ 肉及び肉製品が含まれている可能性のある飼料は加熱給与してください。

(攪拌しながら90℃以上60分以上又はこれと同等以上)

※ 攪拌しながら90℃で60分以上、又は95℃で19分以上、100℃で6分以上